

# 「次世代機能性農林水産物・食品の開発」

## 公開シンポジウム～一億総活躍社会の実現に夢を馳せて

農林水産物・食品に含まれる様々な機能性成分について、認知（コグニション）低下防止を含めた脳機能改善効果、身体ロコモーション機能改善等の科学的エビデンスの検証、およびその成果を活かした次世代機能性農林水産物・食品の商品化の加速に取り組んできた。本シンポジウムでは、成果の報告とともに、高齢者など、国民に「食と運動」の意義を伝え、その具体的方策の提示と将来展望を紹介する。さらに、生体恒常性（ホメオスタシス）維持に与える効果を主眼に置いて、開発した評価システムで、次世代農林水産物・食品の有効性を検証した成果も報告する。

**入場無料**  
定員600名  
(事前登録制)

### プログラム

13:00 SIP「次世代農林水産業創造技術」が生み出すイノベーション  
13:10 野口 伸 (内閣府 プログラムディレクター)

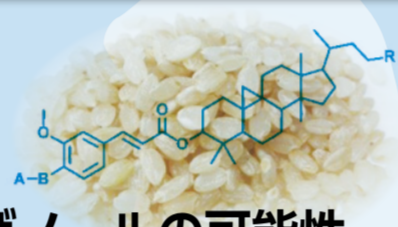


13:10 次世代機能性農林水産物・食品の開発を基盤とする一億総活躍社会の実現に夢を馳せて  
13:25 阿部 啓子 (内閣府 サブプログラムディレクター)



#### 農林水産物・食品研究の新たな視点

13:25 ~ 13:50  
玄米機能成分による脳機能改善と糖尿病予防  
～エピゲノム・コントローラーとしてのγ-オリザノールの可能性  
益崎 裕章 (琉球大学大学院医学研究科 教授)



13:50 ~ 14:15  
糖尿病および認知症の複合予防効果の期待される米飯および  
米加工食品開発の試み  
大坪 研一 (新潟薬科大学応用生命科学部 教授)

14:15 ~ 14:40  
トマトに含まれるトマチジンの筋萎縮抑制効果  
三浦 進司 (静岡県立大学食品栄養科学部 栄養化学研究室 教授)

14:40 ~ 14:55 (休憩 15分)

#### 食品因子の基盤研究とヒトへの橋渡し研究 II

14:55 ~ 15:20  
脳・腸・皮膚の相互作用を利用した精神的ストレスを緩和する  
機能性食品素材の開発  
高山 喜晴 (国開 農業・食品産業技術総合研究機構)

15:20 ~ 15:45  
抗糖化機能性食品の基礎からヒト臨床研究への橋渡し  
：クロモジに注目  
米井 嘉一 (同志社大学生命医科学部 教授)

15:45 ~ 16:10  
DHA生産微細藻類の高度利用と機能性  
石原 賢司 (国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所)



#### 機器・技術開発

16:10 ~ 16:40  
光センシングによる簡便なホメオスタシス多視点評価システムの  
健全人での有用性検証～バリデーションとヒト試験結果  
数村 公子 (浜松ホトニクス(株)) 稲川 裕之 (自然免疫制御技術研究組合)

16:40 ~ 17:05  
機能性食品と運動トレーニングの併用が高齢者の  
神経筋機能に及ぼす影響  
渡邊 航平 (中京大国際教養学部 准教授)  
森谷 敏夫 (京都大学 名誉教授、京都産業大学 教授)



17:05 ~ 17:30  
時間生物学を利用したマウスからヒトへの機能性食品開発  
柴田 重信 (早稲田大学理工学術院 教授)



17:30 ~ 17:55  
高齢者の身体能力に及ぼす運動×機能性食品の相乗効果  
：時間栄養学・運動学の観点から  
川上 泰雄 (早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)

17:55 ~ 18:00  
閉会挨拶 山野井 昭雄  
(内閣府 イノベーション戦略コーディネーター)



2017年11月30日(木)

13時～18時(開場：12時15分)

会場：有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)

<http://www.asahi-hall.jp/yurakucho/access/>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F

電話 03-3284-0131

対象：一般(研究担当者、省庁関係者、協力企業、マスメディア、その他研究者)

以下URLのホームページへアクセスの上、ご登録ください

<http://www.jba.or.jp/pc/activitie/event/>

来場の際には、登録後に自動配信される登録確認メールを印刷したものをお持ちください。なお、定員になり次第、登録を締め切らせていただきます。

お問合せ：(一財)バイオインダストリー協会

SIP事務局：秋元、矢田 TEL 03-5541-2731

主催：内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代農林水産業創造技術「次世代機能性農林水産物・食品の開発」を構成する5つのコンソーシアム

「脳機能活性化コンソーシアム」、「身体・食品機能研究コンソーシアム」、「時間栄養・運動レシビ開発コンソーシアム」、

「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」、「未利用藻類の高度利用を基盤とする培養型次世代水産物の創出に向けた研究開発コンソーシアム」

共催：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 後援：農林水産省、経済産業省、スポーツ庁、国税庁、(一財)バイオインダストリー協会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本生物工学会(いずれも予定)